

ゲムシタビンを含む一次化学療法不応の切除不能膵癌患者に対する、二次化学療法としての FOLFIRINOX 療法および S-1 療法に関する検討

1. 研究の対象

2007 年 8 月から 2018 年 10 月までにゲムシタビンを含む一次化学療法不応後に FOLFIRINOX 療法または S-1 療法を受けられた方

2. 研究目的・方法

膵癌は予後不良な消化器癌の代表ですが、近年、化学療法の進歩により生存期間は延長してきています。切除不能膵癌では、一次化学療法が不応となった際に生存期間の延長を考慮して、二次化学療法を行うことがガイドラインにおいても提案されています。しかし、二次化学療法として、どの抗がん剤を選択すべきかについては、十分なエビデンスに乏しい状況です。そこで当院においてゲムシタビンを含む一次化学療法が不応となった後に、FOLFIRINOX 療法または S-1 療法が行われた症例の情報を後ろ向きに収集し検討することで、新たな知見を得ることを本研究の目的としています。方法は、2007 年 8 月から 2018 年 10 月までにゲムシタビンを含む一次化学療法不応後に FOLFIRINOX 療法または S-1 療法が行われた方を対象として、患者背景、検査結果、化学療法の内容、治療効果、生存期間、副作用などの臨床情報をレトロスペクティブに検討します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報: 患者背景、検査結果、化学療法の内容、治療効果、生存期間、副作用など

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

大阪国際がんセンター 肝胆膵内科 医長 池澤賢治

住所: 〒541-8567 大阪府中央区大手前3-1-69

電話: 06-6945-1181

研究責任者: 大阪国際がんセンター 肝胆膵内科 医長 池澤賢治

住所: 〒541-8567 大阪府中央区大手前3-1-69

電話: 06-6945-1181

-----以上